



表紙写真紹介（高瀬嘉秀さん 港北区新羽町）

令和5年度横浜農業協同組合主催野菜立毛品評会で優秀賞及び神奈川県園芸協会長賞を受賞した畑です。トマトの部は、毎年6月初旬に立毛品評会を行います。ほ場は生育良く、支柱立てや誘引が適切に行われており、きれいに管理されています。

農地法52条に基づく農地の賃借料情報

10a あたりの賃借料情報（円/年額）

		平均	最高額	最低額
中央	田	11,200	11,800	10,200
	畑	20,400	40,100	7,900
南西部	田	11,400	11,600	1,100
	畑	15,900	31,600	4,900

※令和5年中に利用権設定を行った賃借をもとに算出。100円未満は四捨五入。
※別途、水利費等がかかる場合があります。

令和5年度事務処理状況

審議・報告件数及び面積

		耕作目的の 売買・賃借 3条許可	市街化調整 区域の転用 4・5条許可	市街化区域 の転用 4・5条届出	相続税納税猶予 ・適格者証明 (入口)	相続税納税猶予 ・利用状況確認 (20年明け)
中央		42件 53,218㎡	54件 65,460㎡	622件 277,797㎡	29件 127,855㎡	27件 132,110㎡
南西部		11件 19,571㎡	36件 31,300㎡	360件 180,689㎡	12件 101,015㎡	23件 133,852㎡

※面積は集計後小数点以下を切り捨てています。
※市街化区域の転用4・5条届出については、令和5年度中に受理した件数及び面積

農業委員会の活動紹介

農地造成をする際は事前に手続きが必要な場合があります

「農地造成」とは、農地の生産性向上や利用促進を図る目的で、切土・盛土を伴う土地の形質の変更を行うことをいいます。横浜市では、農地造成を行う場合、農業委員会が地域の営農状況への影響の確認や、切土・盛土を行う上での技術的な指導を行っています。農地造成を検討されている方は事前に各農業委員会事務局に御相談ください。

なお、盛土規制法の施行（令和5年5月26日）に伴い、手続きについて変更がある場合があります。詳細については、農業委員会事務局または地区委員へ御相談ください。



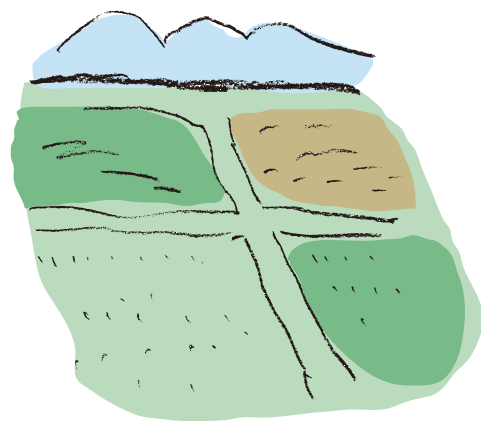
農地利用状況調査を実施します

農業委員会では、遊休農地（耕作放棄地）の解消に向けて、農地法第30条の規定に基づく農地の利用状況調査を実施しています。

今年度は6月～11月に管内全農地の調査を実施します。調査の際、農地に立ち入る場合がありますので、御協力をお願いします。

併せて、この機会に作付け・耕うん・草刈りなど耕作地の管理徹底をお願いします。

この調査で確認された遊休農地の農地所有者に対して、利用の意向調査等を行います。



農業委員会事務局からのお知らせ

【中央農業委員会】

事務局事務長	わたぬき 綿貫	おさむ 理
事務局農地係長	あいうら 相浦	まさひろ 正弘

【南西部農業委員会】

事務局事務長	さわだ 澤田	えつこ 悦子
事務局農地係長	こだか 小高	ひであき 英明

令和6年4月1日付けで、中央農業委員会事務局の農地係長の異動（上表の **新任** マーク）がありましたので、お知らせします。引き続き、どうぞよろしくお願ひいたします。

南西部農業委員会 会長の交代について

会長	やじま 矢島	ひろし 寛
----	--------	-------

南西部農業委員会前会長の北村豁会長（享年79歳）におかれましては、令和6年5月17日（金）に御逝去されました。ここに深く哀悼の意を表し、御冥福をお祈りするとともに、謹んでお知らせいたします。



委員紹介

本農委だより第51号
～第57号で全委員を
ご紹介していきます。

凡例 (委員会名) 氏名
【農】 農業委員
【推】 農地利用最適化推進委員
①主な営農地域 ②主な作物 ③ひとこと

中央 加藤 義晴【農】

①神奈川県片倉
②露地野菜
③主にキャベツの栽培を中心に、ホウレンソウ、ネギ等を市場に出荷しています。都市農業特有の難しさもありますが、次世代へ繋がる農業を目指したいと思います。初めて農業委員を担いますが、地域のために努力したいと思います。



中央 白井 秀幸【農】

①保土ヶ谷区西谷町
②露地野菜
③皆さんに美味しい野菜を食べていただくため、有機肥料を使い、減農薬で野菜を約30品目栽培しています。高齢化と後継者不足の中で、今後農地を維持していくのが課題であると感じています。このような課題解決の力となれるよう農業委員として努めていきたいと思っています。



中央 阿部 敏【農】

①旭区上川井町
②露地野菜・果樹
③担当地域の上川井農業専用地区は、区画整理事業により畑は集約されます。少数の意欲ある方々により引き続き農業経営がなされていきますので、地域のために農業委員として協力、応援していきたいと考えています。



中央 川田 昭一【推】

①港北区日吉本町
②花卉・露地野菜
③私の代から花卉栽培を始めました。農地が住宅に囲まれ、近くに駅があるため、ごみのポイ捨て、野生動物の被害が増え、対策に追われています。このたび、初めて農地利用最適化推進委員となり、農業者の皆様のお役に立てればと考えております。



中央 根本 栄治【推】

①都筑区東方町
②露地野菜
③ホウレンソウ、コマツナ等の軟弱野菜を周年出荷しています。農業者の高齢化、後継者不足等の問題にあたり、新規就農者を含めて今後はより一層、農地の賃借が円滑にできるよう農地利用最適化推進委員として尽力したいと思っています。



中央 井上 太市【推】

①青葉区恩田町
②露地野菜・水稻
③江戸時代からの農家の兼業で父親から引き継いで農業を行っています。水稻が中心ですが乳幼児や小学校低学年の子ども達にサツマイモ掘り等の農業体験をしてもらい、農業に親んでもらうよう努力しています。



南西部 森 雅則【農】

会長職務代理

①泉区中田南
②果樹
③2期目の就任となり、令和6年5月からは会長職務代理を務めることとなりました。多種多様な農業が営まれる都市農業の諸問題に対して、地域の方々と協力して取り組んでまいります。



南西部 田中 豊【農】

①戸塚区舞岡町
②水稻、露地野菜、果樹
③委員会活動に関わり、4年目になります。心掛けているのは「地域の代表としての責任を持ち、地域の農業を守り、発展させることに全力を尽くすこと」です。



南西部 清水 昭男【推】

①泉区和泉町
②露地野菜
③農業の盛んな地域なので、それに伴い高齢化、相続、非農地や生産緑地など多くの問題に日々対応しております。勉強しながら、地元の方々の力になりたいと思います。



南西部 大山 明裕【推】

①戸塚区川上町
②露地野菜、果樹
③露地野菜、果樹を調整区域で生産しています。就農して5年程経ちますが、農作業はなかなか奥深いと実感しています。農業委員会に参加するのは初めてです。農家と農業のこれからのために一生懸命取り組みますので、よろしくお願いします。



令和6年度
からの

横浜都市農業推進プランと横浜みどりアップ計画が策定されました

横浜都市農業推進プラン 2024-2028

計画の理念 活力ある都市農業を未来へ

5か年の
目標

- 1 市内の各農業地域の特性を十分に生かし、新たな技術を積極的に取り入れ、新規就農者も含め意欲ある農家により元気な横浜の農業が展開されています
- 2 良好な農景観の形成や生物多様性の保全にも寄与する、まとまりのある優良な農地が形成されています
- 3 市民が農に関わる機会が市内全域で増えるとともに、地産地消が進んでいます

計画の柱1

持続できる都市農業を推進する

農業生産基盤整備の支援や生産振興を図るとともに、多様な担い手の確保や支援により、将来にわたり持続可能な都市農業を推進する取組を展開します。



畑地かんがい施設を整備した農地



担い手への農業用機械導入支援

計画の柱2

市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での役割や機能に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。



保全された水田



収穫体験農園

※ 横浜都市農業推進プランの計画の柱2は、横浜みどりアップ計画の柱2と同じ内容です。

横浜みどりアップ計画 [2024-2028]

計画の理念 みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の
目標

- 1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- 2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- 3 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します



柱1



市民とともに次世代につなぐ森を育む



柱2



市民が身近に農を感じる場をつくる



柱3



市民が実感できる緑や花をつくる



効果的な
広報の展開



横浜みどりアップ計画は、財源の一部として **横浜みどり税** を活用しています

計画の詳細・
問合せ先

横浜 農業 プラン

検索

で検索

みどり環境局農政推進課

☎671-2630

FAX 664-4425

横浜みどりアップ計画

検索

で検索

みどり環境局戦略企画課

☎671-4214

FAX 550-4093

発行●横浜市中央農業委員会 / 〒 224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32-1 (都筑区総合庁舎 4階)

☎ 045-948-2475

FAX 045-948-2488

横浜市南西部農業委員会 / 〒 244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 16-17 (戸塚区総合庁舎 8階)

☎ 045-866-8495

FAX 045-862-4351

～よこはま農委だよりは農家の皆様の農政活動協力金により作られています～